



2015



CHARTERED SEPT. 11, 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015 - 16 会長主題

一人ひとりが賜物。もっと発酵、もっと発信！

あずさ部長	標 克明 (甲府)	「ワイズメンとして一歩前進」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府)	「原点に立って、未来へステップ」
アジア地域会長	Edward K. W. Ong (シンガポール)	“Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ)	“Mission with Faith” 「信念のあるミッション」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上妻英夫 / 書記 鈴木田通夫 / 会計 尾内昌吉・金本伸二郎
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功徳文夫 / 担当主事 沖 利柯

2015年 7月例会	
＜キックオフ・YMCA サービス・ASF・RBMの月＞	
とき	7月21日(火) 18:30~20:30
ところ	山手センター 101号室
受付	鈴木田祐子さん・金本伸二郎さん
司会	鈴木田通夫さん
開会点鐘	会長
モットー・ワイズソング	一同
聖書朗読・祈祷	司会者
ゲスト・ビジター紹介	会長
会食	一同
ハッピーバースデー	
楽しい歌	鈴木田祐子さん
卓話「東京YMCA 現状と展望」	
	東京YMCA 評議員 上田晶平さん
ニコニコ	一同
山手Yの小窓から	担当主事
報告	担当主事、会長
閉会点鐘	会長

当番(第3班) 鈴木田(祐)、浅羽、金本、増野

ワイズメンズクラブ モットー
『強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う』 “To acknowledge the duty that accompanies every right”

今月の聖句
キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおの部分は分に 応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって 造り上げられてゆくのです。 エフェソの信徒への手紙 4章 16節

7月 HAPPY BIRTHDAY
飯島愛子さん 20日

会費の納入は、会計(尾内君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

6月報告	
会員在籍数	19名
例会出席者	メン 9名 メネット 1名
ゲスト・ビジター	1名
会員出席率	47%
ニコニコ	6,250円 (累計 84,522円)
B F 切手 2.0kg	外国切手 0.05kg

6月例会 報告

日時：6月16日（火）18時30分～20時30分

場所：東京Y山手センター 101号室

出席者（敬称略）：

メンバー：浅羽、飯島（隆）、飯野、尾内（昌）、
尾内（規）、沖、金本、鈴木田（通）、
増野 9名

司会：鈴木田通夫さん

2014-15年度最後の例会は、出席者9名と少々こじんまりでしたが有意義な会合となりました。

ハッピーバースデーは尾内（昌）さん。86歳になられて、まだまだ豊饒。今や山手クラブの最高年齢になられています。これからも我がクラブの先頭を走っていただきたいものです。

「楽しい歌」は本日体調不良でお休みの鈴木田祐子さんに代って飯島（隆）さん指導、浅羽さんのピアノの下「ズンゴロ節」を歌いました。

その後、廣田東京YMCA総主事から発せられた6月5日付「東陽町センター閉館のお知らせ」文書に基づき、沖館長から説明がありました。山手クラブのメンバーにとってはまさに青天のへきれき、と思われるこのニュース、2018年3月の借館契約満了時に契約を更新せず、東陽町センターを閉館することを評議員会で決定したとのこと。日本語学校を含む語学教育センターは継続したいが、認証保育園は継続が困難、ウェルネスセンターも2017年12月をもって終了などのことを聞きました。この件の質疑では、YMCAの活動の中心をどこに求めるのか、YMCAでなければできない仕事は何なのか、などが問いかけられました。経済的な理由やセンターのメンテナンスなどの課題から閉館を決定したわけですが、閉館までに残る2年余の期間で、新たなビジョンの策定が期待されます。

その後、本日のメインテーマである「**新年度に向かった話し合い**」が行われました。初めに、浅羽会長より「山手クラブメンバーは、皆さんそれぞれの賜物があり一人ひとりが生かされている。そこにさらにプラス何かを加え、より生かされたクラブにしよう」との提言がありました。東陽町センター閉館の話聞いた後での話し合いで、若干重いスタートになりましたが、参加者全員が意見を開陳しました。

・山手学舎の学生に参加の呼びかけができないだろうか。

- ・他クラブに例があるように、山手近隣の大学YMCAとの連携が図れないか、例えば、立教や早稲田に呼びかけられないだろうか。（この話では、立教YMCAの学生が東日本大地震の支援で宮古で活動が続けたり、高齢者施設でボランティア活動を行っている様子を伺い、立教YMCAとは飯島さんが繋がりがあつたことを話されました。）
- ・福島への支援を大きな柱として、継続的な支援を行えないだろうか。
- ・YMCAのリーダーが、リーダーを終えた後も継続的にYMCAの活動を支えていくための支援ができないだろうか。
- ・高齢者と子供、三世代にわたるような試みができないだろうか。
- ・YMCAのリーダーが継続してYの活動に加われないのは、リーダーに社会的な視点が欠けているためではないだろうか。ワイズからの協力、支援をおこなう必要があるのではないか。
- ・我が国において、子どもの6人に1人は貧困の中にいるという状況で負の連鎖を防止するにはどうすべきか、戦争をしないような状況をどうつくりあげていくかなど、国際理解を深めつつ、ワイズが社会とのつながりを保ちながら、ワイズができることは何か、ワイズは何を大切に守りとおすのかを明確にする必要があるのではないか。

等々幅広い意見が多く出されました。

また、会の途中では数々の東日本区表彰が回覧され、会計報告では今年度会費が完納され、前期よりも15万円ほど剰余が増えたことが発表されました。次期会計は今期をベースにヨルダン会で策定することを承認されました。

なお、次次期あずき部長として浅羽会長が内定していることから、活動費として相当額の繰り越しを準備しなければならないことがあることも示されました。

「山手Yの小窓」では、沖館長より、掲示板設置・照明工事の状況について話されました。

（まとめ・金本）





ヨルダン会 報告

日時：6月24日（水）13：30－16：30
 場所：山手センター 202A 号室
 出席：浅羽、尾内（昌）、功能、鈴木田、
 中村、増野 6名

議題：

1. 今年度を振り返る意見交換
 東京 Y の現況について菅谷東京 Y 副総主事から、山手学舎 60 周年にあたり学舎 OB の須田哲史さんと学舎舎監松本竹弘さんから、山手センターの課題について山手センター館長の沖さんから、YMCA ホテル学校 80 周年にあたり校長の小畑貴裕さんからと、YMCA について学ぶことの多い年であった。

しかし、山手ワイズは仲良く集まってはいるが、外に向かって何を発信したいのか、そのメッセージ持っていないのでは、もっと主張のある活動を持つべきでは。

2. 新年度運営について、意見交換
 - ・一人ひとりの賜物を生かす主題は少し表現を変えて継続。
 - ・若者のタウンミーティングを計画したい。
 - ・福島の子供たちの支援をしたらどうか。
 - ・会員増強をどう具体化するか。

3. 7-12 月のプログラム
 - ・7月 は東京 Y の評議員から話を伺う。
 - ・7月ヨルダン会 21 日の例会前 16 時から開催する。
 - ・あずさ部評議会

日時：7月18日（土）12：30～16：00
 （受付開始 12：00）

会場：目白聖公会ホール（目白駅から目白通りを西へ5分）

山手クラブはホストクラブとして設営等のため 11 時に集合する。山手の出席可能者を確認する。

- ・8月納涼例会は椅子席の会場を探す。
- ・11月例会は山手、サンライズ、たんぼぼ3クラブの合同例会を予定する。
- ・諏訪町町会長の本田様の卓話を10月頃に計画したい。
- 4. YMCA 協力
 - ・山手センター 七夕募金 7月7日まで
 - ・東京 YMCA 夏祭り 東陽町センターで 8月29日（土）11：30～15：30
 - ・チャリティーラン
- 5. 会計報告
 - ・2014～15年度決算と2015～16年度予算案について尾内会計から説明、7月例会で承認を受ける。

YMCA 同盟協議会に参加して

浅羽俊一郎

6月、東山荘で同盟協議会に初参加しました。100名を超える参加者の約3分の1が若者でした。二日目、あるユースが前に出てきて「折角若者が来ているのに会議に参加するだけでいいのか、この機会に時間をもらって若者だけで集まって話し合おう」と呼びかけました。熱心な議論がなされたようです。そう、YMCA ではユースが主役になれるのです。この予期せぬ素晴らしい体験と、最初に呼びかけたユース（女性）の勇気に乾杯！

アイデアにあふれた 第18回東日本区大会

増野 肇

6月6日、7日に第18回東日本区大会が厚木市文化会館で開催された。天気が心配されたが、雨は前日で上がり曇り空で暑くもなく恵まれた日になった。山手クラブからは浅羽会長のほか、尾内夫妻、飯野、戸坂、沖、増野が参加した。

前半のセレモニーが開催された厚木市文化会館は立派なホールで、入り口にはホストクラブの人たちがおそろいのグリーンのシャツ姿で迎えてくれた。厚木クラブの小松伸史、小林美智枝さんの司会で面白いデザインの緞帳があがると舞台には和太鼓が並んでいて相模の国白竜太鼓の演奏で幕あけになる。白竜に雨乞いをするという内容の乱れうち、いさみうちが小学校3年生から参加できる白竜保存会の人たちによって勇壮に披露される。

今回は厚木ホストクラブを中心に東京クラブ、まちだクラブ、コスモスクラブ、横浜つつかクラブ、さらに湘南・沖縄部が協力して構成し、ワイズとしては初めての厚木市の教育委員会が共催という形をとっている。そのようなわけで小林常良厚木市長からもお祝いの言葉があり、市議会の議長でもある石井メンを中心とするライフワークとして子どもたち援助の活動に感謝しているというお話があった。そのような地道な活動の中から共催という形も生まれたのだと納得する。

セレモニーが終って、特別講演は神奈川工科大学先進技術研究所所長の山本圭治郎教授の「ロボットの力」というお話。福祉の世界での介護にロボットが参入して力を発揮している現状が紹介された。ロボットが倒れても自力で起き上げるようにしているところが面白かった。話が終ると舞台の上に並べられたロボットを体験できるようになっていて、私も、手袋のような電子の末端を組み合わせたものを手に付けて動かしてみた。狐の形をすると、机の上の手が同じような動きをするのがわかる。福祉の現場で実際に役立つロボットの開発もどんどん進んでいるのがわかった。講演の前に、厚木市の健康福祉課の人たちが、当地のゆるキャラ「アユコロちゃんロボット」も登場して、一緒に健康体操を指導してくれたのも楽しかった（どうぞ、自宅ではチューブなどで練習してください）。

懇親会は本厚木駅に近いレンブラントホテルにバスで移動して行われた。始まる前の時

間に、近くの厚木中学校の吹奏楽の皆さんが楽しい演奏を披露してくれた。総員60名という凄い編成で、合唱からジャズ、民謡までを楽しく演奏してくれた。ただの演奏ではなく、楽器を振り回してのパフォーマンスも入った演奏で、懐かしのメドレーから、バッハ、「川の流れのように」ディズニーパレードと、色とりどりの華やかな演奏にすっかり魅せられました。

そのあとの懇親会が、また各クラブ同士が集まらないで交流が図れるようにセッティングされているのがなかなか良かった。お隣同士話ができて、いろいろなクラブの状況も聞くことができた。個人的には宇都宮クラブの方から船津さんの事を聞いたのが良かった。懇親会も、トランペットの演奏があり、熊本弁の歌あり、さらに皆が参加するダンスもあっていろいろ工夫されているのが感じられる温かい懇親会だった。

<追記と写真>

尾内昌吉

翌日は聖日礼拝に始まり、例年の如く表彰式、理事・役員引継ぎが行われ、次期理事の力強い所信表明があった。次期は甲府クラブより渡辺理事が、またユース事業主任にはわがクラブより浅羽さんが就任した事が特記事項としてあげられる。

また大阪茨木クラブの三牧さんが西日本区書記として参加されており、お土産まで頂戴した。

▼山手クラブの受賞

CS 献金達成賞、ASF 献金達成賞、
FF 献金達成賞、BF 献金達成賞、
BF 使用済み切手収集協力賞、
TOF 献金達成賞、RBM 献金達成賞、
YES 献金達成賞、グランドスラム賞、
YIA 推進賞、ロースター広告協力賞、



山手クラブの7人

(大会写真 次ページに続く)

(東日本区大会写真 続き)



三牧西日本区書記(左) 渡辺東日本区理事(右)



浅羽さんがユース事業主任に

.....

おたより(6月)

<福島 正さん> (東京目黒クラブ) 見ました、見ました。待望久しい山手クラブのブリテンを。集合写真のきれいさは、他に類を見ないほど見事で感心しています。さすが親クラブ、奇をてらわず、オーソドックスで、老舗の貫禄を感じます。これから毎月拝見出来るだけでも嬉しさ100倍です。ありがとうございました。

(山手クラブの初の電子版ブリテンについてご感想をお寄せくださいました。感謝)

<上妻英夫さん> 「街かどや サツキ アジサイ 雨に濡れ」梅雨空かと思うや街角のサツキ、アジサイが所せましと咲いているのに冷たい雨が降りかかってくる。

<田尻忠邦さん> みなさまにはご心配をおかけしていますが、去る6月3日に退院後初の検診がありました。順調に回復しているとのことで、職場復帰のOKも出ました。6月22日(月)から週数回出勤して、7月からの完

全復帰に備えます。その間は関西の自宅にて療養させていただきますので、6月16日の例会は欠席させていただきます。

YMCAニュース

▼公益財団法人東京YMCA 役員交代

5月29日開催の評議員会にて、下記のとおり役員の退任と就任がありましたのでお知らせいたします。

◆理事

退任 古田和彦氏

就任 神保正男氏

◆評議員

退任 笈川光郎氏、松岡信之氏、

栗田 茂氏

就任 古賀 博氏、三谷高康氏、

若槻史郎氏

▼第681回東京YMCA 午餐会

三大宗教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の聖地であるエルサレム。聖書の物語の舞台であり、現在に至るまで複雑な紛争の歴史を持つ地です。エルサレムをもうひとつの故郷とする池田裕先生に、自然、歴史、宗教、考古学、旧市街、人々の日常生活などの視点から、その魅力を語っていただきます。エルサレムYMCAのことも触れていただく予定です。

【卓話者】池田 裕(いけだゆたか)氏

筑波大学名誉教授・中近東文化センター附属博物館館長

【テーマ】エルサレム

【とき】7月23日(木) 12:00~13:30

【ところ】東京大学

*東京メトロ南北線 東大前駅徒歩0分 改札前エレベータをのぼってすぐ。

【参加費】3,000円(食事なし1,500円)

【申込】東京YMCA 賛助会事務局に7月21日まで 03-3615-5568

e-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp

▼山手センター七夕募金実施中

山手センター正面入り口に笹の枝が飾られています。短冊に願いを書いて飾っていただき、同時に募金もお願いしています。この募金は国際協力募金となりますので、ご協力宜しくお願い致します。(~7月7日まで実施予定)

(沖 利柯)